

地域政策特殊研究

担当者 裕永 佳甫

開講時期 通年 単 位 4

特殊研究は1～3年次の3年間を通して行われる演習科目です。

●講義の概要

先行研究の探し方、先行研究からどうやって博士論文のトピックを探すのか、興味あるトピックについてどのように分析するのか、分析結果をどう解釈するか、その含意は？など、博士論文完成に至るまでのステップについて講義します。

●講義の到達目標

博士論文として十分な質を担保すると同時に、博士論文の一部を活用して、しかるべき学術雑誌への投稿と掲載を目標とします。

●講義計画

1年目：興味あるトピックスについて、様々な先行論文を読み理解します。様々な先行研究を読み、先行研究をファイリングします。1年の終わりには、先行研究から博士論文のトピックスを数個に絞ります。また先行研究を理解するために必要な分析スキルを同時に身に付けるトレーニングを行います。

2年目：先行研究を参考に研究の潮流についてレポートを作成します。そのレポートを作成する過程において、研究のニッチ(やり残された研究)を探し出し2年の終わりには博士論文のトピックを確定します。どのようなトピックを選ぶかで、博士論文の価値が大きく決まります。そして分析を行いつつ、1年に引き続き先行研究を理解するために必要な分析ツールを身に付けるトレーニングは続けます。

3年目：2年次に作成したレポートを参考に、博士論文の先行研究に関する章を作成します。またおおよそ夏休みまでに分析を終え、夏休み中に分析の含意や政策的示唆について執筆を行います。執筆した論文について、内部および外部からの批判的示唆を参考に改訂を加え、より質の高い博士論文へと仕上げていきます。

●成績評価基準と方法

主に1・2年次：先行研究に関するレビューレポートを論理的に書けているか（25%）

主に1・2年次：データ分析に関するレポートを論理的に書けているか（25%）

主に3年次：博士論文の完成度（50%）

●テキスト又は参考文献

受講生の研究テーマに応じて、適宜配布する。

●受講上の留意点

オアシス論文の執筆に心がけてください。

オ：おもしろい

ア：新しい発見がある

シ：シンプルで分かりやすい

ス：スキのない分析